

2026. 1 Vol.13

2026年1月21日発行

OSAKA MAFF 通信

近畿農政局大阪府拠点



カンツバキ

Topics

- ◆つなごろう大阪府女性農業者！交流会を開催しました
- ◆目指せ！たまねぎの産地化！東大阪“エコたま”チャレンジ
- ◆NIPPON FOOD SHIFT FES. 大阪2026がグランフロント大阪で開催されました
- ◆「大阪産（もん）」の紹介
- ◆農業者の皆様へ 収入保険をご紹介します

編集・発行 近畿農政局大阪府拠点

〒540-0008

大阪府中央区大手前1-5-44

大阪合同庁舎第1号館 6階

☎ 06-6943-9691

BUZZMAFFとなりの近畿



大阪府拠点WEBページ



つながろう大阪府女性農業者！交流会を開催しました



【講師の副島准教授（1列目左から3番目）志知近畿農政局長（1列目右から2番目）、有江地方参事官（1列目右）及び女性農業者の皆さんと摂南大学の学生の皆さん】

近畿農政局大阪府拠点、令和8年1月15日（木曜日）に近畿農政局大阪府拠点会議室（大阪市中央区）において、「大阪府女性農業者交流会」を開催しました。

本交流会は、「地域の活性化」の取組と大阪府の女性農業者の交流を図ることを目的に開催し、摂南大学農学部副島久実准教授による講演、2名の女性農業者による取組紹介及び参加者のグループトークを行いました。

また、「オンラインなら参加しやすい」という声もあり、オンライン併用型で開催し、オンライン参加の方には、取組紹介まで視聴していただきました。

グループトークでは、「今日からできる「ひと工夫」を一緒に考えよう」をテーマに3班に分かれて話し合いました。

今日からできそうな小さな工夫として、

- ・カラフルなデザインのロゴなどの宣材を作る。
- ・気配りなど、女性ならではの視点で取り組む。
- ・まずはやってみることに、チャンスを掴みにいくことが大事である。

などの意見が出ました。



【グループトークの様子】



【志知近畿農政局長の挨拶】



【副島久実准教授の講演】



【森下未来氏の取組紹介発表】



【立道智恵氏の取組紹介発表】

目指せ！たまねぎの産地化！東大阪“エコたま”チャレンジ

令和7年11月22日（土）に東大阪市で開催された「東大阪“エコたま”チャレンジ」に大阪府拠点も参加し、東大阪市役所農政課にお話を伺いました。

☆取組のきっかけはなんですか？☆

企業やスーパーと連携し、東大阪市産の大阪エコ農産物（化学肥料及び農薬を慣行栽培の50%低減）たまねぎを使用した加工食品を開発・販売する話があり、スポーツのまち東大阪市として、スポーツ選手にも農業に取り組む機会を創出するとともに、地域農業の振興や食への関心へと繋げるため、このチャレンジを企画しました。

☆チャレンジの内容は？☆

本日のたまねぎの植付け作業は、スポーツ選手をはじめ多くの市民の皆さんに応援隊として参加いただきました。

次の3月には雑草取り、5月には収穫作業も行う予定です。

☆今後の展望は？☆

開発した商品はスーパーで販売する予定です。

本年は試行的にたまねぎ栽培を実施し、5トンの収穫を目指していますが、来年度はさらに各農家さんに協力を呼びかけ、50トンの収穫となるよう頑張ります。

今後も農業体験イベントとして企画・開催し、プロスポーツ選手をはじめ、市民や学生が交流できる場を創出し、いずれは淡路島、泉州に次ぐたまねぎの産地化を目指し、農業振興に繋がりたいです。



応援隊のみなさんで15,000本の苗を植えました！

BUZZMAFF
掲載動画は
こちら↓



東大阪市HP
こちら↓



収穫が楽しみ！今後も東大阪市のチャレンジに注目です！

NIPPON FOOD SHIFT FES. 大阪2026がグランフロント大阪で開催されました

令和8年1月12日（月曜日・祝日）、グランフロント大阪北館（大阪市北区）で、農林水産省主催の「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT FES. 大阪2026」が開催されました。



☆NIPPON FOOD SHIFT FESとは？☆

農林水産省は、消費者に日本の「食」と「農」を取り巻く課題を身近なものとして考えてもらうために、生産者や事業者と出会い、対話をする機会を創出し、食への新たな気づきや発見を促し、意識や行動を変えていくきっかけづくりを行ってきました。このため、今年度についても、大阪において「NIPPON FOOD SHIFT FES. 大阪2026」を開催しました。

☆ FESの様々な催し☆

会場内では、「食と農をつなぐアワード」受賞者の取り組み紹介や、「FOOD SHIFT セレクション」受賞製品の販売を行っており、プレゼンエリアでは、大学生による食と農の理解を深めるプレゼンテーション等が行われました。



【会場風景】

プレゼンエリア 実施プログラム	
11:00	
11:30 ~ 12:00	野宮国際大学 和歌山県津和野町の魅力発見 / ビンゴゲーム大会 1.000
12:00 ~ 13:00	株式会社ちの お米飯あえがきワークショップ 1.000
13:00 ~ 14:30	京都芸術大学 デザインを学ぶ2世代による食や農の課題解決につながる 視覚的表現のプレゼンテーション (6チーム×15分)
14:30 ~ 15:00	京都精華大学 京北学園創立40周年記念活動報告
15:00 ~ 16:00	株式会社ちの お米飯あえがきワークショップ 2.000
16:15 ~ 16:45	野宮国際大学 和歌山県津和野町の魅力発見 / ビンゴゲーム大会 2.000
17:00	

【プレゼンエリア】



【プレゼンテーション】

「大阪産（もん）」の紹介

大阪産（もん）とは、大阪府内で生産された農林水産物とその加工品のことです。



← 大阪産（もん）に付けられているロゴマークは、大阪もんの言い換えである「品」をモチーフに「農産物や林産物などをイメージする萌葱色（もえぎいろ）」、「魚介類などをイメージする孔雀青（くじゃくあお）」「つくり手の温かみや情熱など「大阪産（もん）」を支える人々をイメージする金茶色（きんちゃいろ）」を3つの「円」で表し、様々な主体の活動や連携の「輪・環」を築き広げることを表しています。

季節の大阪産（もん）→

全国で次々と新しい品種が開発されている「いちご」。2025年は16品種が登録されました。写真は「紅ほっぺ」。

大阪府内の様々な場所で栽培されており、いちごの表面のツブツブは種ではなく、ひとつひとつが果実。赤くて甘い部分は、茎の先端の花床（かしょう）が膨らんだ偽果（ぎか）です。



農業者の皆様へ 収入保険をご紹介します

収入保険は、全ての農産物を対象に、自然災害による収量減少や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない収入減少を広く補償します。

自然災害や病虫害、鳥獣害などで収量が下がった



市場価格が下がった



災害で作付不能になった



けがや病気で収穫ができない



倉庫が浸水して売り物にならない



取引先が倒産した



盗難や運搬中の事故にあった



輸出したが為替変動で大損した



☆加入できる方

- ✓ 青色申告を行っている農業者（個人・法人）
- ✓ 保険期間の前年1年分の青色申告（簡易な方式を含む）実績があれば加入できます。

☆対象収入

- ✓ 農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体

☆補償内容

- ✓ 保険期間の収入が基準収入の9割（5年の青色申告実績がある場合の補償限度額の上限）を下回った場合に、下回った額の9割を上限として補填します。

☆もっと詳しく！

- ✓ 保険料及び積立金や上記の詳しい内容は、農林水産省ホームページでご確認ください。



農業経営の収入保険：農林水産省

地方参事官ホットライン 電話：06-6941-9658（平日9:00～17:00） メール：hotline_kinkiosaka@maff.go.jp

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見等がございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまで連絡ください。広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

近畿農政局 大阪府拠点 地方参事官室

電話：06-6941-9658（対応時間 平日9:00～17:00）

メール：hotline_kinkiosaka@maff.go.jp

HPから：<https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/161215.html>

【大阪農業mini知識】大阪府内の農産物直売所の販売総額 18,230百万円 全国26位(R7)

